



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2006.12.6 (No.2437)  
週報 No. 21

第2560地区ガバナー／中 條 耕 二  
会 長／渡 辺 勝 利  
会長エレクト／荻根澤 隆雄(クラブ奉仕A)  
副 会 長／中 村 和 彦(クラブ奉仕B)  
幹 事／山 田 富 義  
S A A／石 月 良 典  
会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

■本日の出席会員数:65名中51名  
■先々週出席率:80.33%

【ビジター】

- ・三条北RCより  
落合益夫さん、大野新吉さん

【先週のメークアップ】

- [12.4] 三条南RCへ  
・石橋育於さん、松谷晃吉さん
- [12.5] 三条北RCへ  
・石橋育於さん、山田富義さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



シャコバサボテン

## 会長エレクト挨拶

荻根澤隆雄 会長エレクト



ご挨拶を申し上げます。

最近になりまして体重の増加が気になり、朝食前に50分前後のウォーキングをするようになりました。2年位前頃から血圧が高くなり定期的に病院へ通っております。当然そのたびに降圧剤を処方して頂いており、薬の服用が義務となっております。そんな事からも一つには運動不足が第一

の要因かなと考え、一番経済的に有利なウォーキングをやり始めた訳ですが、お陰で今迄感じ取れなかった事が感じられる様になりました。

五感が復帰したような感じです。例えばパン屋さんの近くに来ると香ばしいパンの焼ける匂いを感じ取れたり、水の流れる音が何故か清々しく感じたり、空気の暖かさや冷たさを肌で感じたり、或いは音で感じたりする事が有ります。当たり前のことですが…従来の朝といえ何をするにも時間を気にしながらせかせかとしていたものですから、外へ出てても感じ取る余裕がないのか、或いは感受性能力が欠けていたのでしょうか。雨が降っていたら弥彦線高架下を歩けば良いと松谷さんから教わりましたので、降る日は高架下を歩きます。その日が二七の市日は出店者が早い時間から準備をしている傍を歩く訳ですが、考えてみれば市に店を出される人達は天候に関係無く市に訪れる方の為に一生懸命に働いている訳ですが、仮に今日は雨風が強いから休もうとか、吹雪だから休もうとかは無いと思います。本当にご苦労を感じます。仮にその様に休む方が一人二人三人といたなら、昔より続いていた市はとっくに無くなっていたかも知れません。どんな天気であろうと買い物に来てくれるお客さんの顔が観たい、喜んでくれる姿が嬉しいと思っているに違い有りませんし、この

人達も三条市の暮らしや文化を支えている人達なのだと思えます。

話はかわりますが、実用新案あるいは特許等の知的所有権や工業所有権などの普及活動をしておりました友人がつい最近、東久邇宮記念賞なるものを受賞致しました。あまり聞きなれない賞でしたので少し調べましたら次の様に由来が紹介されていました。

昭和天皇の女婿であります東久邇宮盛厚殿下が「発明は上下貴賤の区別は無い、小発明も尊い、ノーベル賞を百取るより、国民一人一人が小発明家になる事が大切だ。一億総発明運動を起こしたい、国民皆が何かを発明したり発見をしたりして、人の為に役立つとういつも考えていけば国は栄える。」

殿下が亡くなる時の遺言で宮家の名誉と財産を使って毎年、発明研究に努力をして国民に幸福をもたらした人を探し出し表彰を致すことになったのだそうです。

話を戻しますと、三条市で経済や文化を支えている方々は多くいるかと思いますが、市日に出店を長年に渡り休む事無く三条市民の為、あるいは暮らしや文化を支えている、この様な関わりを持っておられる方も三条市にとっては大事な人達なのと感じ、ついには何かの折に行政より栄誉を称えられれば、市民より野球場脇の市民市、四日町の市も含め市に対する理解が一層に深まり、且つ県央の観光資源になるかもと感じた次第です。どうでしょうか…

挨拶を終わります。有り難うございました。

## 幹事報告

山田富義 幹事

◎いからしの里より

サンタクロース派遣依頼がとどいております。

と き 12月20日(水) PM 2:00～

ところ いからしの里 デールーム

※社会奉仕委員及び会長、幹事のご出席をお願い致します。

◎渡辺ガバナーエレクト事務所より

2007～08年度地区委員会委嘱状がとどいております。

2007～08年度ローターアクト委員会委員長  
成田秀雄会員

## 「総会」

荻根澤隆雄 会長エレクト

先日の例会で、皆さんにお示しいたしました次年度役員、理事以外の立候補者の締切が11月29日迄で指名委員会にお申出頂きたいと申し上げましたところ、どなたも立候補の申請がありませんでしたので、先回、指名しました役員・理事のメンバーで決定いたしました事を報告します。

### 次年度役員・理事候補者

#### 役員

|        |       |
|--------|-------|
| 会 長    | 荻根澤隆雄 |
| 会長エレクト | 中村 和彦 |
| 副 会 長  | 菊池 涉  |
| 幹 事    | 杉山 幸英 |
| S A A  | 浅野 金治 |
| 会 計    | 山田 富義 |

#### 理事

|                 |
|-----------------|
| 渡辺 勝利 (直前会長)    |
| 五十嵐 浩 (職業奉仕)    |
| 樺山 仁 (社会奉仕)     |
| 高橋 司 (国際奉仕)     |
| 石月 良典 (副 幹 事)   |
| 明田川賢一 (副 S A A) |
| 船越 正夫 (親 睦)     |
| 松永 一義 (プログラム)   |

## ニコニコBOX

### 三条北R.C 落合益夫さん、大野新吉さん

久しぶりのメーキャップです。中條年度に入っての諸大会参加、お手伝いのお礼やら、お願いに落合地区副幹事と諸大会責任者として出席させていただきました。宜しく申し上げます。

### 石橋育於さん

50周年のためBOXに協力お願いします。

### 松谷昊吉さん

12月に入り、50周年の案内を県下各クラブに送附しました。又、4分区の各クラブを訪問しています。だんだん具体的になってきました。

### 渡辺勝利さん

本日は出張のため、大事な例会を欠席させていただきます。宜しく申し上げます。

### 山田富義さん

11月29日、中條ガバナー公式訪問、皆様のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。

種田さん、卓話ありがとうございます。

### 藤田説量さん

捧さんの歌集を頂きました。

### 斎藤弘文さん

本当に寒くなりました。かぜをひかない様に気をつけましょう。

荻根澤会員が会長をつとめておる地場産の推進協議会で岡山県のあいおい（相生）市にあるスプリングエイトを見学して参りました。

### 荻根澤隆雄さん

昨日、警備会社、消防署、警察にお世話になりましたが、幸い、三条新聞に載らずに済みました。

今日は会長代行をさせていただきます。

### 五十嵐昭一さん

種田さんの卓話に期待いたします。

ロータリー50周年共催。

### 会田二郎さん

種田さんの卓話、楽しみです。

50周年も楽しみにしております。

### 中村和彦さん

種田さんの卓話、楽しみにしています。

よい出来事がありました。

### 石塚欣司さん

種田さんの卓話、楽しみにしております。

ささやかですが、50周年成功のために協力します。

### 川瀬康裕さん

敦賀でカニを沢山食べてきました。

### 田中 仁さん

捧様のご本を読ませて頂きます。

### 小出子恵出さん

昨日は『美味しいカニ料理を食す会』を企画して

下さり、ありがとうございました、菊池さん。

### 佐野勝榮さん

寒くなりました。カゼに気をつけましょう！

種田さんの卓話を楽しみにしています。

### 小柳直人さん

腹にくる風邪にかかり、公式訪問と50周年料飲検討会の両方とも欠席してしまいました。

### 渡邊喜彦さん

先日、イタリア、ミラノ、ベネチア、フィレンツェ、ローマの旅に行ってきました。欠席が多く恐縮です。

### 石月良典さん、杉山幸英さん、広岡豊作さん、

### 丸山行彦さん、船越正夫さん、斎藤真澄さん、

### 外山雅也さん

種田会員の卓話、楽しみにしております。

### 若槻八十彦さん

種田さん、卓話楽しみです。

捧さん、歌集いただきます。

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

### 明田川賢一さん

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

種田さんの卓話、ありがとうございます。

### 金子俊郎さん、樺山 仁さん、五十嵐晋三さん、

### 坂井康司さん、伊藤寛一さん、松永一義さん

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

12月6日分 ￥ 83,000

今年度累計 ￥1,192,000



## 卓 話

### 種田純夫 会員



自問自答しながらしゃべっております。

殊に、今までの歴代会長の卓話は、それぞれに含蓄があり、ロータリーの歴史や奥深い生き様を感じるものばかりでございました。

ところで、私とロータリーの係わりはまだ始まったばかりです。従って、ロータリーに関することは、なかなかお話ししようもありません。ただ、ロータリーとの出会いは、実は昭和56年3月にあります。27歳の頃です。私は、東京支店から新潟の本店に転勤を命じられました。本店営業部の得意先係になりまして、暖かい東京から、雪の新潟です。新潟勤務は初めてですし、生活するのも初めてで、東京でも得意先係でしたが、東京と新潟では、お客様も第四銀行に対する見方もかなり違います。プレッシャーがかかります。特に、ロータリークラブの会長、幹事の交代時期などには、様々な会員の方とお目にかかります。新潟市をよく知らない得意先係としては、地域の御歴々が揃っていらっしゃるのがロータリーだと思っていますから、必要以上に緊張したり、また、そうした方々と話ができることに、感激し、さも知り合いになったように得意になったものでした。当地三条でもそうであるように、会員の皆さんの会社、事業所は名前が通っており、伝統や企業風土みたいなものができていらっしゃる。地域にも、積極的に関わっておられます。周りから見れば、畏敬の念を持って見ていらっしゃる方も多いと思います。

この間、新入会員の勉強会を開催していただきました。きちんとしたご説明を受け、奉仕の精神や地域の友情などそれぞれの企業、事業所の目的を追求だけではなく、別のタフなパワーを強く感じた次第です。

得意先係のころに、ガバナー経験者の方が、「銀行マン」としての心根の持ち方や行動の姿勢など会話の中で「こだわり」を持って、論じて下さった思い出が甦り、ロータリーの精神風土は歴代会長の卓話で語られてきたような長い歴史や培われてきた仲間に対する友情が、その背景だったんだと感じております。

その「歴史」というものなんですが、先般の日経新聞で「私の履歴書から読む昭和史」というシンポジウムに関する座談会のなかで、ある人がこのようなことを言っておりました。

「歴史が人物をつくるのではなく、また、時局が人を動かすのではなく、人が歴史をつくることもある」

歴史の流れ（その真っ只中にいるとわかりませんが）が、人に影響を与え、結果的に人は何かをしてしまうことが普段は多いと思います。しかし、トップが会社を大きく変えることがあるように、意識して人が歴史をつくることはあるのだらうなと思いました。

歴史に学ぶとよく言いますが、私のところは金融ですので、そちらの歴史をちょっと振り返ってみます。金融の近代史の中で、最近の10年は一番の激動の時代だったと思います。NHKの番組に「その時、歴史が動いた」という番組があります。

何かがきっかけとなり、人がある行動をとる。その行動に反応して別の誰かが動く。その行動が、現象となって、大きな流れになる。良い方に回れば、きっかけを作った最初の言葉や行動は偉業となり、悪い方に回れば歴史の汚点となる。

実は、気になり続けていることがあります。バブル経済は起こりうるして起こったと言えばそれまでではありますが、何かがきっかけでバブルは大きく膨らんだのではないかと思うわけです。

金融機関における不良債権処理が一段落してきた昨今、昔のことを忘れない意味で、金融ビッグバンの端緒のころを頭に呼び出しておくべきだと思うわけです。

平成8年11月に「日本版ビッグバン構想」が発表されました。

平成9年11月、今も忘れませんが、北海道拓殖銀行が破綻しました。あとになって、拓銀の屋上の看板がクレーンで降ろされるシーンは、かなりショッキングでした。その頃、銀行は都市銀行と言われるものが、第一勧銀、太陽神戸三井、富士、東京三菱、住友、三和、東海、大和、協和埼玉、北海道拓殖とあり、日本興業銀行、日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の興長銀がありました。それが今では、第一勧銀・富士・日本興業銀行がくっついて「みずほフィナンシャルグループ」、太陽神戸三井がさくらになり、住友と経営統合して「三井住友フィナンシャルグループ」、もともと東京を吸収していたに近い東京三菱は三和、東海連合であったUFJをグループに入れ、「三菱UFJフィナンシャルグループ」となり、3つのグループとなりました。そのほか、りそなホールディングスもありますが、やや性格が違うことから、メガは3つとってよくなりました。興長銀はすべてなくなりました。あおぞら、新生という外国のファンドの資本となっています。

歴史が動く背景には人がいます。金融機関に多額の不良債権が溜まっていく出来事のきっかけは、何だったか？正解なんてないと思います。しかし、私なりに「気になって」いることが、一つあります。バブルの前、日本の金融は、護送船団方式による保

護行政、株の持ち合いなどの持たれあい、地価は常に上昇するという日本独特の土地神話に依存した担保偏重の融資、こうした中で邑社会のような金融界のなかで、銀行は世界を見ず、国内の競争に明け暮れ、順位競争を繰り広げ、またその順位が信用のパロメータのように喧伝していました。

そんな中で、ある銀行の頭取が全職員に訓示した一言、「向こう傷を恐れるな」、この一言が発せられたとき、歴史が動いた！と思うわけであります。

地上げ、などという言葉が流行、都市再開発、ニュータウン計画、ウォーターフロント開発といったゼネコンを中心とした活動にあわせ、小さな町の不動産屋まで浮かれたように不動産、土地を転がし、今では信じられないような値段で売買がなされました。

私の審査部主査時代の経験でも、例えば湯沢町は東京都湯沢町などと言われ、昔1坪1,000円もしない河川敷があればよければと上がり10,000円、何と10倍になったかと思うと、更に上昇し10万円に近い値をつけたことがありました。

そんな土地に、リゾートの計画が持ち上がったたり、何にもない大草原に、ゴルフ場や温泉の計画が出てきたり、今冷静に振り返れば絶対おかしいとわかることが、当時は乗り遅れるなとの号令のもと進んだのです。「失敗してもよい。骨は拾ってやる」「チャレンジしないで、何ができる」、まさに「向こう傷を恐れるな」が合言葉でした。都銀では、特にこうした融資業務の展開が目立ち、地方の金融機関にも影響が波及していきました。

この言葉を発した頭取は、土地投機のような融資が続く、そんな現象を考えたわけではなかったでしょう。仕事や業務に対する積極的な姿勢がなければ、企業の成長や維持継続といったことは困難になります。

経営者にとって、この考えを従業員が持ち、行動することは重要であり、その頭取もこのような趣旨で「向こう傷を恐れるな」と言ったのだと思います。しかし、結果は期待していたものとは逆のものとなりました。

しかし、この言葉は、今では、バブル期の経営の失敗の象徴となるものとして取り上げられ、銀行が利益第一主義に走るキッカケとなり、不動産融資による融資拡大競争で、不良債権の山が築かれることにつながったような気がします。

さらに、歴史が動いたこの言葉以降、日本は準備も今ひとつのなかで、いきなり欧米のスタンダードを基準としなければならないという、金融の完全自由化に向けたアメリカの黒船を否応なく受け入れる流れを自分で作っていったと思います。

尤も、日本金融市場の相対的な地位の低下、空洞化は起こるべくして起こったとは思いますが。歴史はまだ確定したわけではありません。しかし、日本の金融の長い歴史の中で「向こう傷を恐れるな」は象

徴的な言葉であり、発言者の意に反して、部下は動く、動き始めると全体が見えなくなるということはあるんだなと気が付くわけです。

関ヶ原の戦いに遅れた徳川秀忠軍、賤ヶ岳の戦いの際の佐久間盛政軍、それぞれ全軍の行動としては必ずしも間違っていないと思います。しかしながら、歴史を後で検討すると、大きな影響をもつ出来事となったわけです。関ヶ原に遅れた事で、勝敗を決する主力となった大名は外様としての地位を確立し、西日本に徳川本流の存在はなかったと言われます。

一方、守り上手の柴田勝家は、守っていたら勝ったかもしれない戦いを佐久間軍をいまいし制することが出来ず失い、豊臣への流れを大きく作ってしまいます。

そのとき、何を成せばよいか、何を言うかは、なかなかわかりません。しかし、こう言うとうどうなるか、こう動くとうどんな影響があるか、くらいは検討せよということかもしれません。

そうした点を、社内に示す意味で、経営理念、社是というものは極めて大切なものだと思います。各企業、各事業所ごとに持っている雰囲気は訪問者にとって肌でわかる気がします。何かにこだわる、社員一人ひとりが誇りに思う拠り所を作り、感じていけるように、また、行動の基準がわかるようにしておくことが大切だと思います。

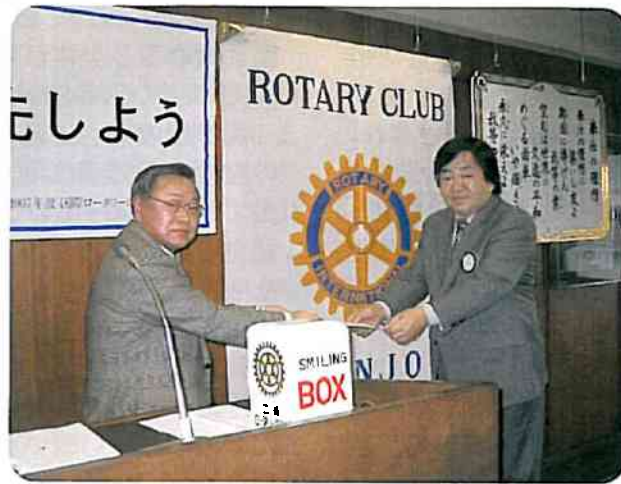
あるスーパーの行動基準に「はじめの3秒、終わりの1秒」というのがあり、売り場の基本としていと聞いた事があります。お客に向かう姿勢として、端的にその基本を示し、拠り所を作っている。歴史は、この行動基準の中で、育まれ作られていくのかなと思います。

金融の歴史は、東洋経済が予想する業界大再編の特集の中でも、「これからは地域」だとのこと。九州、東北の再編は水面下で進んでいるのでしょう。火のないところに煙は立たないわけです。尤も、都銀は3つになりましたが、地銀はまだ64行のままです。足利銀行の件が決着するあたりから動きが増すのではとも言われます。2006年3月時点では、相互銀行は第2地銀となり、昔から見たら22くらい減って現在47行です。信金は153程度減少し292信金、信組は233減少し172信組となっています。歴史はまだ動いているはず。金融再編も一つの歴史であります。こういう時代こそ、拠り所と大きな歴史観を持って変化に挑戦し、行動するしかないと思っています。

この変化に挑戦し、行動することは、私どもの企業理念の一つであります。

「あの時、歴史が動いた」「よい方向に向かった」と言われるように精進していきたいと思っています。

至らない内容ですが、ご静聴誠にありがとうございました。



2007～2008年度地区ローターアクト委員長  
成田秀雄 会員

### パストガバナー佐野 孝様 出演テレビ番組のお知らせ

昨日(12/11)NHK新潟放送局の記者(テレビカメラ)が突然来院され、佐野理事長(佐野パストガバナー)が約2時間ほど取材を受けられました。

内容は、12月12日放送されます。皆さん是非ご覧下さい。

◎NHK総合テレビ(チャンネル8)

12月12日(火)午後6時からの総合ニュースのあとの「新潟ニュースファイル」  
6時10分からです。

(なお、2回目は翌週12月19日(火)の同じ時間帯でも放送されるようです。)

次週例会 12月20日 夜例会 「新会員歓迎及び家族忘年会」  
PM6:30～ 於VIP

次々週例会 12月27日 クラブ休会

